

フェアリングの取扱い

フェアリング、ウインドスクリーンは傷がつきやすくなっています。取扱いについては必ず次のこととお守りください。

- フェアリング、ウインドスクリーンは傷がつきやすいので、清掃するときは多量の水を使って、やわらかい布やスポンジで汚れを落としてください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、十分な水で洗剤を洗い流してください。
- ガソリン、ブレーキ液または洗剤等の化学物質がメータ、ウインドスクリーン、フェアリング等の樹脂部品およびヘッドライトにかかると、亀裂などが発生しますので、絶対にかからないようにしてください。
- ウインドスクリーンに貼付されているコーションラベルは、はがさないでください。

エキゾーストパイプ・マフラーの取扱い

エンジン停止直後は、エンジン本体、エキゾーストパイプ、マフラーなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

エキゾーストパイプ・マフラーはステンレス鋼を使用していますので、油脂等の汚れが付着したまま、エンジンを始動すると焼けムラが起ります。

- 汚れが付着した場合は、ステンレス用台所洗剤を使って、やわらかい布かスポンジで汚れを洗い落としてください。洗浄後は、十分に水洗いして乾いた布で水分をふき取ってください。
- 焼けムラをとる場合は、市販の細目のコンパウンドで磨いた後、汚れが付着した場合と同じ要領で汚れを洗い落としてください。